



いなば

稲積神社社報

第8号

平成9年11月1日発行

御鎮座四百年

奉祝記念事業



御鎮座四百年奉祝記念事業趣意書

稲積神社は、第十代崇神天皇の御代、丸山（現舞鶴城）に奉斎されたと伝えられています。甲斐源氏一條忠頼一族の氏神様として崇敬され、『庄城稲荷』と呼ばれておりました。

悠久の歴史と共に広く人々の心のよりどころとして崇敬を集め、『神は人の敬いにより威を増し、人は神の徳により運を添う』の如く、その祭は『正ノ木さん』と呼ばれ人々に崇敬されてまいりました。

現在地に移り四百年を迎えた佳年に当たり、ご鎮座四百年奉祝記念事業を計画いたしました。本事業は、御神慮を敬い御社の尊厳と御神徳を子々孫々に顕彰してまいりたいと思えます。御縁深き御神徳を慕う崇敬者の方々の御浄財の寄進を仰ぎ本計画に格別の御理解を賜り、後世に誇るべき奉祝記念事業の完遂に特段の御協賛賜りたくお願い申し上げます。

平成九年七月吉日

奉祝事業実行委員長

塩島 喜代則

稲積神社宮司

根津 泰昇

奉祝事業実行委員一同

崇敬者各位

●奉祝記念事業概要

- 一、拜殿銅葺屋根替え
- 一、幣殿改築
- 一、表参道、南参道、北参道整備
- 一、神礼所改築
- 一、社務所改築
- 一、参集殿模様替え
- 一、境内整備

●総事業費

一三〇、〇〇〇、〇〇〇円

●事業期間

平成九年七月より平成十二年五月まで（三ヶ年計画）

●募財期間

平成九年七月より平成十二年五月まで（三ヶ年計画）奉賛金の分納も可

奉 賛 謝 意

奉 賛 金 額	接 遇			
	感謝状	玉垣(芳名)	竣工案内	挨拶状
五千元以上	○	○	○	○
壹万円以上	○	○	○	○
貳万円以上	○	○	○	○
参万円以上	○	○	○	○
五万円以上	○	○	○	○
拾万円以上	○	○	○	○
貳拾万円以上	○	○	○	○
参拾万円以上	○	○	○	○
五拾万円以上	○	○	○	○
壹百万円以上	○	○	○	○
参百万円以上	○	○	○	○

尚 ○御奉賛者の御芳名は、御神前に御奉告申し上げ、御

芳名簿は、永久に後世に伝えます。 ○参万円以上の御奉賛者はその名を記し後世に伝えます。



平成十年の年運

稲積神社

宮司 根津泰昇

私達の生命や人生は大神様に授けられた神秘的なものです。人間は大自然に生かされています。大自然の原理は身体の中にも生きています。この世にある森羅万象のうちで大自然の原理から生み出され、生かされてい

ないものは無いのです。この大事な生命や人生をどのように活用したら、より良い生活が出来るのでしょうか。

運勢には、バイオリズムがあります。このバイオリズムを知ることにより、悪い運勢を良い運勢に、良い運勢はより良い運勢にさせることができるのです。

平成九年をどのようにお過ごしになったことでしょうか。景気の回復も思わしくなく、新聞紙面を賑わす見出しは、暗い事件が多かったようです。迎える平成十年は、今年こそはと、希望に満ちた心で迎えたいものです。

それでは平成十年二黒土星戊寅年の年運を予想しますと、バブルが崩壊し、下降し続け

た経済社会は静止の状態の時を迎え、低迷ながら温順平穩な年になるでしょう。

では平成十年にはどのような動きを執ることにより開運を掴むことができるのでしょうか。

第一に次世代に向けての人の育成です。特に信頼性のある人や肉親の人又女性を育成することにより大飛躍の足掛かりになります。

第二に欲望を最低限度に甘んじて、何事にも温順耐之することにより、生活やビジネスに挽回を計り将来の土台を築くチャンスを開運に期待が出来る年です。以上第一、第二を実践することにより開運に結び付くこととなります。

次に注意しなくてはいけないことは、不況の経済社会でもありますので、経済的に儉約することが大事なことです。しかし飛躍するため、道を開くための出費を惜まない事、吝な気持を表面化すると悪事が長引きます。儉約と吝を見極めめることも大事の一つでしよう。

次に病については、消化器系、胃腸病、婦人病に注意しましょう。特に持病としてお持ちの方は充分注意して下さい。

これらの事柄に留意し、日々の努力を惜みず、大神様の御神徳を信じて、新しき年をより佳い年となりますようご祈念申し上げます。

末筆ではございますが、当社が現在地に遷座してより四百年を迎え、御鎮座四百年奉祝記念事業を計画いたしました。

この事業は先代の根津成雄宮司が平成二年に計画し順調に準備も進んでおりましたが病に倒れ他界いたしました。中断止む無しの状況になりました。

その後一年に渡り総代の方々と幾多の意見交換を計り、先代宮司の計画を継承することが私達の任務であることに意見が一致いたしました。

そこで平成十年の正ノ木祭迄に拝殿銅板葺替、幣殿改築工事の竣工を目差し七月一日に起工式を斎行し工事に着手いたしました。

つきましては、経済状況が厳しい折に恐縮ではございますが、寛大なるご理解を賜わり、ご協賛願いたく伏してお願ひ申し上げます。

あしあと

正ノ木まつり

恒例の「正ノ木まつり」が五月二日より五日まで稲積神社境内を中心に遊亀公園周辺を会場に盛大に行なわれた。この正ノ木祭は勿論当神社の大祭であるが、植木まつりとしても大変有名である。

今年はいよいよ三日の大祭が生憎の雨模様となってしまうが、その雨の中を稲積陸会を先頭に神輿が町内を勇壮に練り歩き、多くの参拝者や見物の人々を魅了していました。今年の正ノ木まつりの人出は多少雨の影響もありましたが、ゴールデンウィーク期間では、県内最高の人出となりました。

この正ノ木祭は、江戸時代は「千両祭り」といわれ県内はもとより近県より多くの参拝者があり大変おきな祭りであった事が伺えます。

ここ太田町に御鎮座より四百余年が経ち現在も多くのの人に崇敬され親しまれている神社、これからも皆様の敬に

より大神様の威が益し多くの崇敬者の皆様を徳をお授け下さる事を信じています。



雅楽会出演

稲積神社雅楽会は、六月二十八日、川田町アリアホールに於て、山の都大学の講演の一環として雅楽演奏会を行なっていました。

演奏会は昨年八月、双葉町ふれあい文化館ホールにて開催された、第五回花梨会ピアノ発表会について二回目でありましたが前回の演奏方式と異なり今回は雅楽についての

講義や雅楽器の説明や、受講された方々に実際に雅楽器に触れて頂くという演奏会でしたので前回とは違う緊張感の中での演奏でありましたが、受講された方々のアンケートに雅楽が身近に感じられとてもよかったですとお褒めを頂きこれからの活動にすこししながら自信となりました。

夏越大祓式

去る六月三十日に神社境内特設祓所において夏越大祓式が斎行されました。

大祓は六月と十二月の年二回斎行され、私たちが知らず知らずのうちに犯した罪汚れを祓い清める神事ですが、特に六月は「夏越の祓する人は千歳の命延ぶ」と謳われているようにちの輪をくぐり邪気を祓い暑い夏を元気で過ごせるようお願いが込められています。

この大祓式も回を重ねるごとに参加される方も増えてきています。

十二月の大祓については、社務所までお問い合わせ下さい。

開拓慰霊祭



上九一色村富士ヶ嶺地区では地区を一望する小高い丘に祀られている開拓碑の大前において第二十回の開拓慰霊祭が八月十六日斎行されました。この祭は、開拓の道半ばに亡なられた方々の御霊の慰霊と家畜の霊の供養の為に行なわれている意義深いものでもあります。

祭は神輿渡御や歌謡ショー

ふとん供養祭

寝具の日の十月一日、神社境内において、山梨県わた寝具商工組合主催による「ふとん供養祭」が斎行されました。



寝具の日 十月一日
ふとん供養

稲積神社

正ノ木稲荷大明神

命継ぐ食もの衣もの住むいへも
稲荷の神の恵みなりけり

甲府市太田町公園内鎮座
電話 (0552) 33-5573
FAX (0552) 26-0787